

平成 29 年度 第 1 回 広島製菓専門学校 教育課程編成委員会
日 時：平成 29 年 9 月 28 日 13：00～15：00
場 所：国立江田島青少年交流の家
参加者：生田・矢北・古澤
<p>広島県洋菓子協会会長生田先生より学生に対しての講話を行った。 内容は、製菓製造従事者になるための心構えについて、体験談を交えての話であり、実りのある時間であった。</p> <p>講話後に意見交換等を行った。 講話に関して「学生は真剣に話を聞いていた。」「挨拶もしっかりしていて明るかった。」「内容を少しでも実践に生かして欲しい」「教員に対しても参考にしたい」等の意見がでた。</p> <p>その他の意見 業界で働き始めると、基本的な事が重要になってくる。挨拶、掃除、身だしなみなどの人間力が大切である。</p> <p>基礎技術を在学中にしっかり学んで欲しい。就職してから多くの事を学ぶが、学校で学んだ基礎が大事になってくる。</p> <p>お菓子作りの楽しさを知って欲しい。</p> <p>業界では、季節ごとのイベントや誕生日といった出来事が重要になるので、普段の授業、学校での活動において、こうした内容を意識できるような内容を取り入れてはどうか。</p> <p>そうする事で、楽しく（興味深く）学ぶ事ができるのではないか。また、就職しても、働き甲斐の一つになるのではないだろうか。</p>

#### 意見についての対応案

挨拶など、どの分野にも通ずる大切な内容だと認識している。日頃から学生とのコミュニケーションを取りながら、こうした大切な事が身につくように、より一層力を入れて行く。

具体的な新たな取り組みは、教職員で意見を出し合っていく。

日頃の授業（実習）での内容で基礎技術を身につけるような内容にしているが、毎年同じ内容で満足するのではなく、内容を吟味し、当該学生にあった内容を考えるようにする。

日頃の授業において、季節的なイベント（ハローウィン・クリスマス・バレンタイン）などで、関連した授業内容にしているつもりであるが、内容を改めて精査してみる。また、誕生日ケーキの作成で、それぞれの学生が考案した誕生日ケーキなどを作成するのも効果的ではないか。

これらの意見や対応について、授業活動に反映されるように取り組む。